

(2013年度)

4 日本史問題 (60分)

(この問題冊子は19ページ，4問である。)

受験についての注意

1. 監督の指示があるまで，問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に，監督から指示があったら，解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し，所定の欄に氏名を記入すること。次に，解答用紙の右側のミシン目にそって，きれいに折り曲げてから，受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し，机上に置くこと。
3. 監督から試験開始の指示があったら，この問題冊子が，上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は，HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能，計算機能，辞書機能などを使用してはならない。
5. 解答は解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで，そのマーク欄をぬりつぶすこと。その他の部分には何も書いてはならない。
6. マークをするとき，マーク欄からはみ出したり，白い部分を残したり，文字や番号，○や×をつけてはならない。
7. 訂正する場合は，消しゴムでていねいに消すこと。消しくずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり，破ったりしてはならない。
9. 試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1 奈良時代に活躍した僧A～Hに関する次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。ただし、各文章には一部語句を伏せた個所があるので、歴史的に正しく補って読むこと。なお、文章中にある空欄 には、後出問1の人物群に掲げられた、いずれかの僧名が該当する。

A 林邑国の僧とされ、 に従って来朝した。我が国に林邑楽を伝えたほかに多くの密教経典も請来したとされる。

B に法相宗を学び、審祥に華嚴を学ぶ。(ア)の弘通に努め、東大寺に発展させる。初代東大寺別当になり、(イ)の看病にも当たる。

C 法相宗の僧。孝謙太上天皇の病氣治癒に貢献あり、藤原仲麻呂の乱前後から各種の称号などを得たが、(ウ)年に下野薬師寺に追放された。

D 717年に(エ)らと入唐して、法相宗を学ぶ。735年帰朝。僧正となって橘諸兄を支持するも、(オ)年の藤原広嗣の乱で指弾されたのち、745年に(カ)へ左遷された。

E 6度目の渡航で(キ)年に来朝、戒律を伝える。翌年に東大寺の戒壇で、聖武太上天皇、光明皇太后、(ク)らに授戒し、のちに唐招提寺を始めた。

F 法相宗を学び、社会事業や民衆の教化に努める。僧尼令に違反したとして弾圧も受けたが、東大寺大仏建立に多大の貢献があり、(ケ)となる。

G (コ)僧で、736年に を連れて(サ)より来朝。大安寺に住する。僧正に任じられた翌(シ)年、東大寺大仏開眼導師を務める。

H 703年に僧正となり、弟子に玄昉、行基、(ス)らがいる。岡寺など5つの寺を興す。(セ)朝の内裏に仕える。法相宗である。

問1 次の問いに対し、もっとも適切と思われる人名(僧侶名)を、以下の人物群より1つずつ選びなさい。

- (1) 前掲のA～Hに当たる僧はそれぞれ誰か。
- (2) 次の人物群の僧のなかで、没年の知られるうちでもっとも遅いものは誰か。

[人物群]

- ① 玄昉 ② 鑑真 ③ 仏哲 ④ 惠慈 ⑤ 良弁 ⑥ 義淵
⑦ 道慈 ⑧ 行基 ⑨ 道鏡 ⑩ 菩提僊那

問2 前掲A～Hの文章中の空欄(ア)～(セ)について、次の問いに答えなさい。

- (1) 空欄(ア)に当てはまるもっとも適切な語句を、次から1つ選びなさい。
① 岡寺で法相宗 ② 興福寺で法相宗 ③ 金鐘寺で法相宗
④ 岡寺で華嚴宗 ⑤ 興福寺で華嚴宗 ⑥ 金鐘寺で華嚴宗
- (2) 空欄(イ)に当てはまるもっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。
① 聖武太上天皇 ② 良弁 ③ 阿倍仲麻呂 ④ 孝謙天皇
⑤ 淳仁天皇 ⑥ 光仁天皇
- (3) 空欄(ウ)に当てはまるもっとも適切な年代を、次から1つ選びなさい。
① 752 ② 765 ③ 767 ④ 768 ⑤ 770 ⑥ 772

(4) 空欄(エ)に当てはまるもっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① 犬上御田歙 ② 藤原清河 ③ 鬼室福信 ④ 大伴古麻呂
⑤ 粟田真人 ⑥ 吉備真備

(5) 空欄(オ)に当てはまるもっとも適切な年代を、次から1つ選びなさい。

- ① 738 ② 740 ③ 742 ④ 743 ⑤ 745 ⑥ 746

(6) 空欄(カ)に当てはまるもっとも適切な語句を、次から1つ選びなさい。

- ① 東大寺戒壇院 ② 宇佐八幡宮 ③ 下野薬師寺
④ 陸奥国分寺 ⑤ 筑紫観世音寺 ⑥ 石清水八幡宮

(7) 空欄(キ)に当てはまるもっとも適切な年代を、次から1つ選びなさい。

- ① 750 ② 751 ③ 752 ④ 753 ⑤ 754 ⑥ 755

(8) 空欄(ク)に当てはまるもっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① 吉備内親王 ② 藤原百川 ③ 孝謙天皇 ④ 和気清麻呂
⑤ 和気広虫 ⑥ 淡海三船

(9) 空欄(ケ)に当てはまるもっとも適切な語句を、次から1つ選びなさい。

- ① 745年に大僧正 ② 749年に僧正 ③ 749年に大僧正
④ 752年に僧正 ⑤ 752年に大僧正 ⑥ 753年に太政大臣禅師

(10) 空欄(コ)に当てはまるもっとも適切な語句を、次から1つ選びなさい。

- ① チベット ② ネパール ③ インド ④ ブータン
⑤ ヴェトナム ⑥ タイ

(11) 空欄(サ)に当てはまるもっとも適切な語句を、次から1つ選びなさい。

- ① インド ② 天竺 ③ ヴェトナム ④ 安南 ⑤ 唐
⑥ 朝鮮

(12) 空欄(シ)に当てはまるもっとも適切な年代を、次から1つ選びなさい。

- ① 749 ② 750 ③ 751 ④ 752 ⑤ 753 ⑥ 754

(13) 空欄(ス)に当てはまるもっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① 良弁 ② 義淵 ③ 恵慈 ④ 日文 ⑤ 曇徴
⑥ 景戒

(14) 空欄(セ)に当てはまるもっとも適切な語句を、次から1つ選びなさい。

- ① 元明・元正 ② 元正・聖武 ③ 孝謙・淳仁
④ 孝謙・称徳 ⑤ 淳仁・称徳 ⑥ 文武・元明

問3 前掲の文章中の下線部(a)・(b)について、次の問いに答えなさい。

(1) 下線部(a)について。林邑国とは現在のどの辺りか、もっとも適切な地域を次から1つ選びなさい。

- ① チベット ② ネパール ③ ブータン ④ インド西南部
⑤ インドシナ半島東南部 ⑥ 中国南部

(2) 下線部(b)について。Cの僧が766年に与えられた地位は何か、もっとも適切なものを次から1つ選びなさい。

- ① 大法印 ② 大僧正 ③ 戒壇大講師 ④ 太政大臣
⑤ 太政大臣禪師 ⑥ 法王

2

次に掲げた歴史上の出来事A～Mについて、以下の問いに答えなさい。

- A 僧道元、帰国して曹洞宗を広める。
B ある事件により、六波羅探題を設置する。
C 一の谷の合戦が行われる。
守護・地頭が設置される。
D 僧栄西、再度帰国して臨済宗を広める。
E 『新古今和歌集』成立。
法然・房源空『選択本願念佛集』を著す。
F 評定衆を設置。
G 大江広元を別当とし公文所が設置される。
H 源頼朝、右近衛大将となる。
I 寿永2年10月の宣旨が出される。
『金槐和歌集』成立。
『愚管抄』成立。
J 源実朝、征夷大將軍となる。

いわゆる新補率法を定める。

K 執権北条義時，侍所別当を兼任。

L 御成敗式目を制定。

M 将軍源頼家の親裁を停止し，北条時政ら13人の合議制をとる。

問1 上記の歴史上の出来事A～Mは，正確な年代順には配列されていない。もっとも古いものを①，もっとも時期の下るものを③となるように，A～Mについてそれぞれ正しくマークしなさい。

問2 前掲した歴史上の出来事について，次の問いに答えなさい。

(1) Aについて，歴史的に道元ともっとも関係の薄いものは何か。次から1つ選びなさい。

- ① 天台宗 ② 臨濟宗 ③ 永平寺 ④ 両部神道
⑤ 只管打坐

(2) Bについて，歴史的に六波羅探題ともっとも関係の薄いものは何か。次から1つ選びなさい。

- ① 北条泰時 ② 北条時房 ③ 1221年 ④ 北条時政
⑤ 北条義時

(3) Cについて，歴史的に一の谷の合戦ともっとも関係の薄いものは何か。次から1つ選びなさい。

- ① 鹿ヶ谷 ② 源義経 ③ 源範頼 ④ 福原 ⑤ 鶴越

(4) Dについて、歴史的に栄西ともっとも関係の薄いものは何か。次から1つ選びなさい。

- ① 建仁寺
- ② 『喫茶養生記』
- ③ 比叡山
- ④ 公案
- ⑤ 良観

(5) Eについて、歴史的に『新古今和歌集』ともっとも関係の薄いものは何か。次から1つ選びなさい。

- ① 藤原成親
- ② 後鳥羽上皇
- ③ 慈円
- ④ 西行
- ⑤ 『八代集』

(6) Fについて、歴史的に評定衆ともっとも関係の薄いものは何か。次から1つ選びなさい。

- ① 北条時政
- ② 重要裁判の評議
- ③ 三浦泰村
- ④ 三善氏
- ⑤ 清原氏

(7) Gについて、歴史的に公文所ともっとも関係の薄いものは何か。次から1つ選びなさい。

- ① 源頼朝
- ② 文書の作製
- ③ 訴訟の指揮
- ④ 政所
- ⑤ 幕府の財政に関与

(8) Hについて、源頼朝ともっとも関係の薄いものは何か。次から1つ選びなさい。

- ① 北条政子
- ② 源義朝
- ③ 源隆国
- ④ 源範頼
- ⑤ 北条時政

(9) Iについて、歴史的に寿永2年の宣旨ともっとも関係の薄いものは何か。次から1つ選びなさい。

- ① 鎮西奉行
- ② 源頼朝
- ③ 東国支配権
- ④ 後白河法皇
- ⑤ 東海・東山両道の支配権

(10) Jについて、歴史的に源実朝ともっとも関係の薄いものは何か。次から1つ選びなさい。

- ① 鶴岡八幡宮 ② 承久の乱 ③ 源頼家 ④ 北条政子
⑤ 『金槐和歌集』

(11) Kについて、歴史的に北条義時ともっとも関係の薄いものは何か。次から1つ選びなさい。

- ① 執権政治 ② 後鳥羽上皇 ③ 北条時房 ④ 北条政子
⑤ 宝治合戦

(12) Lについて、歴史的に御成敗式目ともっとも関係の薄いものは何か。次から1つ選びなさい。

- ① 先例の優先 ② 霜月騒動 ③ 北条泰時 ④ 51ヵ条
⑤ 貞永元年

3 次に掲げる史料Aは、17世紀後半から18世紀前半に生きた江戸幕府の政治家の文章である。よく読んで、以下の問いに答えなさい。

A 今重秀が議り申す所は、御料すべて四百万石、歳々に納めらるゝ所の金は凡ソ七十六、七万両余、此内、長崎の運上といふもの六万両、酒運上といふもの六千両、これら近江守申し行ひし所也。此内、夏冬御給金の料三十万両余を除く外、余る所は四十六、七万両余也。しかるに、去歳の国用、凡ソ金百四十万両に及べり。此外に内裏を造りまいらせらるゝ所の料、凡ソ金七、八十万両を用ひらるべし。されば、今国財の足らざる所、凡ソ百七、八十万両に余れり。……しかるに、只今、御蔵にある所の金、わづかに三十七万両にすぎず。……前代の御時、歳ごとに其出る所の入る所に倍増して、国財すでにつまづきしを以て、元禄八年の九月より金銀の製を改造らる。これより此かた、歳々に収められし所の公利、総計金凡ソ五百万両、これを以てつねにその足らざる所を補ひしに、

同き十六年の冬、大地震によりて傾き壊れし所所を修治せらるゝに至て、彼歳々に収められし所の公利も忽たちまちにつきぬ。

問1 上記の史料Aの作者が記述した文章はどれか。もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① 今ノ世ノ諸侯ハ、大モ小モ、皆首ヲタレテ町人ニ無心ヲイヒ、江戸、京都、大坂、其外処々ノ富商を憑たのんデ、其続ケ計ニテ世ヲ渡ル。
- ② 神皇正統記に、光孝より上つかたは一向上古也。万の例を勘ふるも、仁和より下つかたをぞ申める。五十六代清和幼主にて、外祖良房摂政す。是、外戚専権の始……(後略)
- ③ そもそも天地のことわりといふ物は、すべて神のしわざにて、さらにさらにはかりがたき物なれば、いかでかそを極めつく盡してよく知ることのあらむ。
- ④ 日本准三后某、書を大明皇帝陛下に上る。日本国開闢以来、聘問を上邦に通ぜざること無し。
- ⑤ 古の興廢を改て、今の例は昔の新儀也。朕が新儀は未来の先例たるべしとて、新たなる勅裁漸ようよう々きこえけり。

問2 前掲の史料Aの作者は、幕府禁教令下に日本に上陸したある外国人宣教師を尋問しているが、それは誰か。もっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① ヤン＝ヨーステン ② クリストバン＝フェレイラ
- ③ ウィリアム＝アダムズ ④ アレッサンドロ＝ヴァリニャーノ
- ⑤ ジョヴァンニ＝シドッチ

問3 前掲の史料Aの作者の著作で、問2の外国人への尋問から生み出され、1715年に成立した3巻から成る書はどれか。もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① 『西洋紀聞』 ② 『群書類従』 ③ 『華夷通商考』
④ 『蘭学階梯』 ⑤ 『采覧異言』

問4 前掲の史料Aの作者は、ある将軍の就任時に幕閣に入った人物であるが、その将軍とは誰か。もっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① 徳川家光 ② 徳川綱吉 ③ 徳川家宣 ④ 徳川家継
⑤ 徳川吉宗

問5 前掲の史料Aの作者の政治を、当時の年号で呼ぶことがある。その年号は何か。もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① 寛永 ② 寛文 ③ 元禄 ④ 正徳 ⑤ 天保

問6 前掲の史料Aの下線部(a)の人物について、正しく述べられた文章はどれか。もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① 将軍の小姓から側用人になり、甲府15万石の領土を有した。将軍の意を受けて文治政治を推進した。
② 農地を直接支配する改作法を実施した。好学の大名で、朱子学者などを招いて学問を振興させた。
③ 山田奉行から抜擢されて江戸町奉行となる。幕府改革の実務を担当し、小石川養生所や町火消制度を設置した。
④ 勘定所下役から勘定吟味役を経て勘定奉行になった。財政難打開のため、貨幣改鑄を実施したが、悪質な貨幣発行が物価の高騰を招いた。
⑤ 小姓、側用人から出世した。商業資本と結んで積極的に産業振興策をとったが、賄賂政治で不評をかい、失脚した。

問7 前掲の史料Aの下線部(b)にある「運上」など、江戸時代にはさまざまな税金が課された。これらのうち、(ア)運上、(イ)地子(銭)、(ウ)冥加、(エ)御用金の説明としてもっとも適切なものを、次から1つずつ選びなさい。

- ① 幕府・諸藩が財政不足を補うため、特別な商人らに課した臨時の賦課金。本来は領主の借金で、償還されるべき性質のもの。
- ② 税率一定の各種営業税で、小物成の一種。免許料的性質のものも存在した。金納であった。
- ③ 商工業者の営業免許税。本来は献金で、次第に定率上納となった。個人上納と株仲間税の2種があった。
- ④ 本来は小作料のこと。室町期以降、都市の宅地税を指すようになり、銭納された。城下町では免除されることが多かった。

問8 前掲の史料Aの下線部(c)にある「去歳」とは、西暦でいうと何年を指すか。もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① 1706年 ② 1707年 ③ 1708年 ④ 1709年 ⑤ 1710年

問9 前掲の史料Aの下線部(d)について、正しく説明した文章はどれか。もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① 老朽化した御所を造るための費用を幕府が負担した。
- ② 天皇家との結びつきを強くするため幕府負担で御所を拡大した。
- ③ 京都の大火によって焼失した御所を幕府の費用で再建しつつあった。
- ④ 京都の地震によって崩壊した御所を幕府の費用で新築しつつあった。
- ⑤ 京都の御所新築を祝うため幕府の使節を派遣する費用が必要となった。

問10 前掲の史料Aの作者の時代に、朝廷との関係が大きく変化した。それを説明した次の文章の波線部には、誤りのある個所がある。その総数は幾つか、以下よりもっとも適切なものを選びなさい。なお、波線部ひとつを1として数えること。

朝廷では、霊元天皇を押さえ込んだ近衛基熙が太政大臣となり、息子の家熙が関白となって中枢を占めた。近衛基熙の娘は、將軍家継の正室であり、幕府と朝廷の協調は、閑院宮家創設となって具体化した。それまで宮家は三条、桂、有栖川の3家しかなく、幕府は費用を献じて特例として4番目の宮家を設け、以後幕末まで4宮家であった。

- ① 1 ② 2 ③ 3 ④ 4 ⑤ 5

問11 前掲の史料Aの下線部(e)は、元禄の金銀の改鑄を示しているが、次の文章は、それを含めた貨幣政策について説明したものである。空欄(ア)～(オ)に当てはまるもっとも適切な語句を、以下の語群より1つずつ選びなさい。

(ア)年、慶長金銀を改鑄して金銀貨を発行した。慶長小判の品位(イ)%を改めて(ウ)%に切り下げた元禄小判を鑄造するなど品位を落として貨幣量を増し、その(エ)で財政を補った。また、十文の大錢である(オ)通宝鑄造も計画したが、実現しなかった。

[語群]

- ① 1695 ② 1700 ③ 1705 ④ 47.3 ⑤ 57.3 ⑥ 67.3
⑦ 74.2 ⑧ 84.2 ⑨ 88.2 ⑩ 利息 ⑪ 無尽 ⑫ 出目
⑬ 寛永 ⑭ 宝永 ⑮ 天保

問12 次の文章は、前掲の史料Aの作者の経済政策について説明したものである。空欄(ア)～(キ)に当てはまるもっとも適切な語句を、以下の語群より1つずつ選びなさい。

この人物は、経済政策として(ア)貿易の制限を行った。オランダ・中国(明・清)との貿易で、1601年以降1708年までの100年余りで、国内の産出金銀の金(イ)、銀(ウ)が流出したと概算し、新たな法である(エ)を(オ)年に出して、1年間に清船は(カ)隻・銀(キ)貫、オランダ船は2隻・銀3000貫に貿易額を制限した。

[語群]

- ① 対馬 ② 長崎 ③ 博多 ④ 琉球 ⑤ 江戸
⑥ 2分の1 ⑦ 3分の1 ⑧ 3分の2 ⑨ 4分の1
⑩ 4分の3 ⑪ 5分の1 ⑫ 5分の2 ⑬ 5分の3
⑭ 薪水給与令 ⑮ 分地制限令 ⑯ 海舶互市新例 ⑰ 上知令
⑱ 異国船打払令
⑲ 1700 ⑳ 1715 ㉑ 1717 ㉒ 1720 ㉓ 1749 ㉔ 1763
㉕ 30 ㉖ 40 ㉗ 50 ㉘ 60 ㉙ 70
㉚ 3000 ㉛ 4000 ㉜ 5000 ㉝ 6000 ㉞ 7000

4 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

1972(昭和47)年7月、7年8ヵ月に及ぶ(あ)内閣が退陣し、こののちも、同じ自由民主党による政権が維持されることになるが、内閣の交代はめまぐるしかった。

(あ)内閣のあとを受けて成立した(い)内閣は、自らの政治資金調達をめぐる疑惑が明るみに出て、1974(昭和49)年12月、総辞職することになった。この間、1971(昭和46)年の円切上げに続き、(ア)に移行させたほか、首相自身

が訪中し、日中共同声明を發表して日中国交正常化を実現した。また、国内的には、「(イ)^(a)」政策を打ち出したものの、第1次石油危機による原油価格の暴騰も加わって、激しいインフレが発生した。その結果、退陣のその年には、戦後初の(ウ)を経験することになった。

この内閣に代わって成立したのが、(エ)と「クリーン政治」を掲げた(ウ)内閣である。前首相がロッキード事件で逮捕されるなか、与党内の派閥抗争は激しさを増し、1976(昭和51)年12月に行われた総選挙では、自由民主党結党以来初めて衆議院での過半数割れが起きた。その責任をとって(ウ)は辞任し、官僚出身で政界入りした(エ)が首相の座に就いた。この内閣は、進行する経済問題の対応に努めるとともに、懸案の日中平和友好条約の締結^(b)を果たした。

その(エ)も、1978(昭和53)年末の自由民主党総裁選挙に敗れ、(イ)の盟友でもある(オ)に総裁の地位を譲ることになる。これにより、(オ)内閣が成立するが、翌年10月の総選挙の結果、再び過半数割れとなり、与党内の内紛も続くなか、「保革伯仲」の厳しい国会運営を余儀なくされた。その(オ)が急死したのは、1980(昭和55)年6月に実施された衆参同日選挙のための選挙運動期間中のことであった。

その選挙により、自由民主党は安定多数を獲得し、(カ)が内閣を組織することになる。すでに日本経済の(オ)が定着するところとなり、個人の生活安定を望む国民の間には保守回帰の傾向がうかがえるようになっていたが、それは国際社会の動きとも無縁ではなかった。「強いアメリカ」を唱えるアメリカのレーガン政権の誕生は、1970年代半ばのデタント(緊張緩和)から新冷戦へと米ソ関係を一変させる一方で、新保守主義の幕を切って落とすものであった。

(カ)内閣は、レーガン大統領の意向を受け入れた政権運営を行ったが、その路線をさらに推し進めたのが、1982(昭和57)年11月に成立した(キ)内閣である。この内閣は、(イ)を師と仰ぐ(ク)が政権を引き継ぐ1987(昭和62)年11月まで続き、(ア)以後においては異例の長期政権となった。(キ)内閣は、「(カ)」の題目のもと、行財政改革や教育改革を推進する一方で、老人医療や年金などの社会保障を後退させ、電電公社、専売公社、国鉄の民营化を果

たした。また、レーガン政権の国際戦略に同調し、日本列島の「(キ)」化を表明して物議をかました。

(く)内閣は、前政権が(ク)を導入しようとして失敗したのを受け、(ケ)の導入を図り、1989(平成元)年4月から実施した。その年は、年初に昭和天皇が死去し、時代としての「昭和」の終焉を刻印した。また、年末には、米ソ首脳によるマルタ島会談の結果、「冷戦終結」の共同宣言が発表され、こののちの東欧革命、ソ連邦の解体への道筋からすれば、大きな分岐点となっていたといえる。

それは、日本政治についても当てはまる。(く)内閣は、1989(平成元)年6月、(ケ)に対する反発とリクルート事件の疑惑のなか退陣することになるが、それからわずか4年あまりの間に、(け)、(こ)、(さ)の順で内閣が入れ替わり、ついに1993(平成5)年には、自由民主党が分裂し、非自民8党派の連立政権が誕生した。^(d)こうして、戦後日本の政治の背骨でもあった(コ)が崩壊し、不安定な連合政治の時代を迎えることになる。

問1 上記の文章中の空欄(あ)～(さ)に当てはまるもっとも適切な人名を、次の語群から1つずつ選びなさい。

[語群]

- | | | | |
|---------|--------|--------|---------|
| ① 安倍晋太郎 | ② 池田勇人 | ③ 宇野宗佑 | ④ 大平正芳 |
| ⑤ 小渕恵三 | ⑥ 海部俊樹 | ⑦ 佐藤栄作 | ⑧ 鈴木善幸 |
| ⑨ 竹下登 | ⑩ 武村正義 | ⑪ 田中角栄 | ⑫ 中曽根康弘 |
| ⑬ 橋本龍太郎 | ⑭ 羽田孜 | ⑮ 福田赳夫 | ⑯ 福田康夫 |
| ⑰ 三木武夫 | ⑱ 宮沢喜一 | ⑲ 村山富市 | ⑳ 森喜朗 |

問2 前掲の文章中の空欄(ア)～(コ)に当てはまるもっとも適切な語句を、次の語群から1つずつ選びなさい。

[語群]

- ① 安定成長 ② 大型間接税 ③ 国債発行 ④ 国際平和協力
- ⑤ 高度成長 ⑥ 55年体制 ⑦ シーレーン ⑧ 消費革命
- ⑨ 消費税 ⑩ スタグフレーション ⑪ 戦後政治の総決算
- ⑫ 増税なき財政再建 ⑬ 通貨調整制度 ⑭ 低成長
- ⑮ バブル経済 ⑯ 不沈空母 ⑰ 変動為替相場制
- ⑱ 貿易・為替自由化 ⑲ 保守合同 ⑳ マイナス成長
- ㉑ 靖国神社公式参拝 ㉒ 臨時行政調査会 ㉓ 流通革命
- ㉔ 列島改造

問3 前掲の文章中の下線部(a)に関する説明として、正しいものはどれか。次から1つ選びなさい。

- ① 日本側のこの動きは、対中関係正常化戦略を描くアメリカのニクソン大統領による訪中計画に先立って進められた。
- ② この声明では、第2次世界大戦における日本の加害責任については敢えて明確にせず、これを反省する意思が盛り込まれた。
- ③ この声明により、両国間の「不正常な状態」が終結したが、中華人民共和国を「中国で唯一の合法政府」とすることは見送られた。
- ④ これに伴って、台湾の国民政府との外交関係は途絶したが、経済関係については民間交流の形で維持された。

問4 前掲の文章中の下線部(b)に関する説明として、正しいものはどれか。次から1つ選びなさい。

- ① 産業構造の高度化がさらに進展し、重化学工業部門の保護政策を実施することが急務とされていた。
- ② 日本の貿易黒字が大幅に拡大し、欧米諸国との間に生じた貿易摩擦の解消が求められていた。
- ③ 内需拡大による国内消費が限界となり、企業の海外進出や海外への投資が強く推奨されていた。
- ④ 為替相場における円の乱高下が続いたため、円高不況を克服することが必要になっていた。

問5 前掲の文章中の下線部(c)に関する説明として、誤っているものはどれか。次から1つ選びなさい。

- ① この主義は、経済不振対策として、古典的な自由放任主義経済によって対応できないことを説いていた。
- ② この主義は、国家によって有効需要を創出し、福祉政策を充実させていくと考えるあり方を批判した。
- ③ この主義は、民営化や規制緩和により民間活力を引き出し、「小さな政府」を実現することを目指していた。
- ④ この主義は、アメリカのみならず、イギリスのサッチャー政権でも信奉され、これに基づく政策がとられることになった。

問6 前掲の文章中の下線部(d)に関する説明として正しいものはどれか。次から1つ選びなさい。

- ① 自由民主党の分裂は、小沢一郎ら、「政治改革」の推進を主張する離党者が現れたことによって引き起こされた。
- ② この連立政権は、「非自民」を旗印にして結集し、日本社会党、新生党、公明党、日本共産党、新党さきがけなどで組織された。
- ③ この連立政権の首相の座に就いたのは、保守新党として自らが設立した新党さきがけの細川護熙であった。
- ④ こののち、自由民主党は日本社会党などと提携し、連立政権を樹立することになるが、現在に至るまで単独での政権獲得は果たしていない。

